

【技術名】漏水対策

水田の畦畔周縁部でのトラクタ作業により 効率的な漏水対策ができます

【技術の要約】

減水深が大きな水田では、畦塗り作業、代かき時における畦畔際の踏圧、畦畔周縁部での集中的な代かき作業の3つのトラクタ作業により、効率的な漏水対策ができます。

【技術の内容】

- 1 減水深が1日で3cm以上となる水持ちの悪い水田では、以下の3つのトラクタ作業により保水性が改善されます。
 - (1) 畦塗り作業を確実に実施します。トラクタ装着型の畦塗機は、作業速度は0.4～1.0km/hr程度で、後進作業への切り替え等により四隅も含めた畦塗り作業ができます。
 - (2) 代かき作業時に畦畔際をトラクタの車輪で踏圧します。減水深が5cm/日程度のほ場では荒代かき時および仕上げ代かき時の2回、4cm/日程度のほ場では荒代かき時に1回など、保水性により工夫します。
 - (3) 畦畔周縁部では、荒代かき、仕上げ代かきともに作業工程を増やします。減水深が5cm/日程度のほ場では、全工程数の5～7割を周縁部に集中させる等、保水性により工夫します。

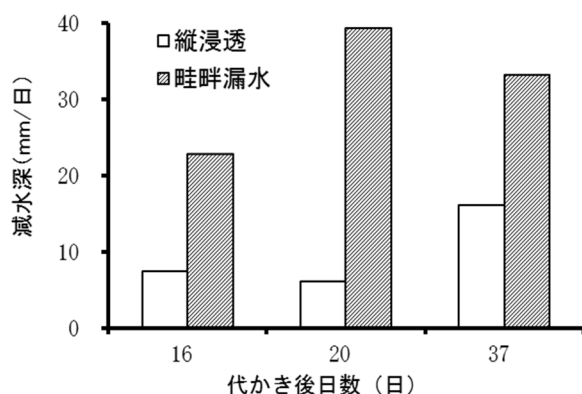


図1 代かき後の水田からの漏水状況
(砂壤土の場合)

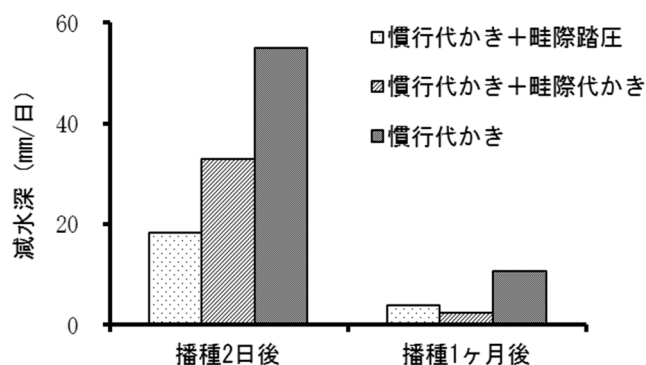


図2 湛水直播栽培ほ場におけるトラクタ
作業による漏水対策の効果

【留意事項】

- 1 この技術は、一部を除き平成28年度試行技術です。
- 2 畦塗り作業は、土壌水分により仕上げ状態が影響されるので、土壌水分が低いほど、車速を低速とします。